

登録日時	2009 1/27 17:18	登録番号	003
チーム名	宇宙利用 気象・水観測等チーム		
行動主体	<p>(株)日立製作所 ディフェンスシステム事業部 情報システム本部 【代表】          三菱電機(株) 宇宙システム事業部 宇宙営業第二部          (株)CBMI</p> <p>【事務局】          (株)日立製作所 ディフェンスシステム事業部 情報システム本部          青木 純一(あおき じゅんいち)          連絡先: 03-4564-5406 (070-6409-3924)          E-mail Address: <a href="mailto:junichi.aoki.gy@hitachi.com">junichi.aoki.gy@hitachi.com</a></p>		
行動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星機能の棚卸を行い、既存衛星の利用範囲を明らかにする。</li> <li>我が国の衛星事業のあり方を検討する</li> <li>衛星利用が比較的進んでいる我が国と利用があまり進んでいない地域、特にアジア地域において、水に関連する利活用(ユーザー)の視点から既存衛星の利用促進方策の明確化を図る。</li> <li>ユーザーの立場より、将来必要とされる利用要件を明らかにする。</li> </ul>		
課題分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来衛星開発は技術オリエントであり、どのように衛星を利用するのか?また、そこから生まれるデータ等をどう使うのか?について明確化せずに打ち上げを行ってきた。そのことにより技術研究としての宇宙開発は着実に成果を出したが、実用衛星という側面からは不十分な結果となっている。</li> <li>重要なことは、衛星の利用目的、運用方法を明らかにしてから衛星仕様を論ずることであり、水の安全保障に置いては、具体的に水域や気象等の観測に「何の目的で?」「どの様に使うか?」さらに「近隣諸国とのデータ交換方法」などを含めて運用面から検討が行なわなければならない。</li> </ul>		
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星のユーザーとなる産学官からチームを構成し、ユーザーの視点から検討を行なう。</li> <li>東南アジア地域の国と、衛星データや成果を共有する手法や、当該国において求められる要件にも注意を払う。</li> </ul>		